

独自の国家予算の編成に向けて議論する生徒ら
=13日、敦賀高



国の予算編成に挑戦

敦賀高 公開授業で活発議論

国の財政に理解を深め、生15人が1年かけて学んでもらおうと、敦賀高は

13日、北陸財務局福井財務事務所と連携して公開授業を行った。生徒は、国が抱える財政課題を学び、独自の予算編成に挑戦した。

同校は昨年、総合的な学習で2年生の1クラスを対象に財政教育を行った。今年はクラスに關係なく希望する2年

生15人が1年かけて学んでもらおうと、敦賀高は

生徒は4グループに分かれて、国の本年度予算をベースに歳出や歳入の経費を議論した。同事務所の職員ら4人が各グループでアドバイスした。

同校は昨年、総合的な学習で2年生の1クラスを対象に財政教育を行った。今年はクラスに關係なく希望する2年

ら、「減らすべき」と大胆に削減するグループがあった。防衛費は「将来子どもたちが安心して生活できるように増やすべきだ」という意見も出た。

歳入で職員からは「減税することで出る影響を考えると」などとアドバイスを受けた。

参加した時岡巨さんは「どれも必要で、どの歳出を減らせばいいのか悩んだ。グループ内で意見を調整して決めるのが難しかった」と話していた。(西出昂平)